

政策評価シート（平成27年度実績評価）

◎ 政策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策No.	4-2	政策名	参画・協働のまちづくり	政策の 目指す姿	お互いを尊重し、持っている特性と能力を活かし合い、まちづくりを行っています	政策 主管課	地域づくり課	政策主管 課長名	佐藤 多恵子
	政策の方針	市民参画と協働のまちづくりを進めるためには、お互いを尊重し、持っている特性と能力を活かし合うための環境づくりが必要です。 そのために、市民が積極的に市政に関わることができるよう市政への参画・協働機会を拡充するとともに、市民が行う公益的活動を支援します。また、男女が社会の対等なパートナーとしてまちづくり等に参画できるよう男女共同参画の浸透を図ります。								

2 成果指標の達成状況

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	区分	H25 (基準年度)	H26	H27	H28	H35	
					目標値	実績値	達成度	見込み		
市民と行政の協働によるまちづくりが進められていると思う市民の割合	まちづくりが市民と行政との協働により行われているか市民の意識を示す指標です。増加を目指します。	出典：花巻市（市民アンケート） 問：市民と行政の協働によるまちづくりが進められていると思いますか。 (1) そう思う (2) どちらかというと思う (3) そう思わない (4) どちらかというと思わない (5) わからない のうち (1) (2) と答えた市民の割合	%	目標値		31.0	33.0	35.0	50.0	
					実績値	28.4	31.5	30.9	-	
達成度	[達成状況に関する背景・要因]									
B	目標値には達していないものの、協働によるまちづくりが進められていると思う市民の割合は増えているが、3割程度に留まっている。まちづくり基本条例で規定している市民参画については、2以上の方法により実施されているものの、その手法の1つであるパブリックコメントは市民に浸透しているとは言い難く、幅広い世代の市民が参画できるような意見交換会やワークショップの手法も積極的に取り入れていく必要があると思われる。									

3 政策に対する各施策の達成度

No.	施策名	成果指標名	H25	H26			H27			H28		前年実績との比較	達成度
			現状値	目標値	実績値	達成度	目標値	実績値	達成度	目標値	見込み		
1	市政への参画・協働機会の拡充	市政へ意見を述べる機会が確保されていると思う市民の割合 (%)	28.5	31.0	32.2	a	33.0	39.4	a	35.0		↗	A
2	公益的活動への支援	この1年間にボランティア団体やNPO法人の活動に参加した市民の割合 (%)	22.9	26.0	21.7	c	28.0	22.8	c	30.0		↗	D
3	男女共同参画の浸透	職場や学校、地域など身のまわりで男女の平等が図られていると感じる市民の割合 (%)	45.7	47.0	43.8	b	48.5	43.5	c	50.0		↘	C
		審議会委員等に占める女性の割合 (%)	28.5	30.0	29.2	b	32.5	31.2	b	35.0		↗	

4 政策の総合的な評価

評価区分	政策の課題と要因
B-④	まちづくり基本条例では市民参画や協働の推進を謳っているが、市民への浸透がまだまだ進んでいないのが現状である。施策1において、市民参画の方法の1つであるパブリックコメントが広く市民に理解を得られているかは疑問が残る。施策2において、ボランティア団体やNPO法人の活動へ参加する市民の割合があまり増えない要因としては、市民へその活動が浸透していないことが考えられる。施策3において、審議会等に占める女性の割合は微増はしているものの、団体推薦の委員の場合、その団体自体に女性が少ないもしくはいないことが要因の1つと考えられる。
やや遅れている	

成果指標達成度	A				
	B	☆			
	C				
	D				
		④	③	②	①

政策に対する施策の達成度

5 政策を構成する施策一覧

	施策名	施策の成果指標の達成状況	H26	A	H27	A
1	施策名 市政への参画・協働機会の拡充	施策の成果指標の達成状況	H26	A	H27	A
[課題] ・市民参画は参画の手法の多くがパブリックコメントになっている傾向もあることから、より市民が参画しやすい工夫を図るべきである。(手法、場所、時間など) ・協働については、市民にとってその内容がよく理解されていないこともあり、また、市においても市民との協働を積極的に推進すべきである。						
[今後の方向性] ・市民参画の手法については、意見交換会やワークショップも採用するなど、より市民が参画しやすい工夫を図る。(手法、場所、時間など) ・市民参画の事案の周知を図る。(コミュニティFMなど) ・市民との協働については、職員の意識高揚を図り、事例を紹介しながら市民にとって身近なものであることの意識づけを推進する。						
2	施策名 公益的活動への支援	施策の成果指標の達成状況	H26	C	H27	D
[課題] ・成果指標においては、ボランティア団体やNPO法人の活動に参加した市民の割合はH26に比べH27は微増してはいるが、目標値には達しておらず、市民に向けたボランティア団体やNPO法人の活動紹介が必要と考える。 ・市民団体等活動支援事業については、H26に比べH27に利用した団体が減少していることから、ボランティア団体やNPO法人に対して周知が必要と考える。 ・資金不足等で活動が停滞している団体を掘り起し、活動を促すことで市民の公益的活動への参加の機会を増やす。						
[今後の方向性] ・市民に向けて、市ホームページや広報紙において、ボランティア団体やNPO法人の活動について紹介し、活動への参加を促進する。 ・市民団体等活動支援事業の活用について、ボランティア団体やNPO法人への総会の席上などにおいてさらに積極的にアピールする。						
3	施策名 男女共同参画の浸透	施策の成果指標の達成状況	H26	C	H27	C
[課題] ・男女共同参画の意識啓発にかかる講座や講演会などの開催にあたっては、さらに多くの市民が参加する周知方法、内容の工夫が必要である。 ・男女共同参画推進員などへの人材養成が必要である。 ・市の審議会等に占める女性の割合を高めるような各種団体への働きかけが必要である。						
[今後の方向性] ・講座や講演会への多くの市民の参加を求めるために、内容の周知や企画の工夫を検討する。 ・サポーター養成講座修了者や講座受講修了者から男女共同参画推進員への人材登用ができるよう、内容の工夫や流れの構築を検討する。 ・男女共同参画推進員による身近な出前講座の周知を図る。 ・審議会等に占める女性の割合をより高めるために、団体等へ委員推薦をお願いする際には、女性委員推薦への協力を働きかける。						